



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2025/11/18

オールドメディア崩壊の象徴
BBC と NHK 反イスラエル主義の宣伝部隊

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。先日、梅田に映画を観に行きました。『ボン・フエッファー』映画館の前に、大きなクリスマスツリーが出現していたんですね。まだ11月なんですが、すでにクリスマスが始まっている感じでした。



さて、今イギリスの国営放送 BBC（日本で言うなら NHK）が、エライことになってるんですね。トランプ大統領が本気になって怒っていて、BBC に対して莫大な訴訟攻撃を加えようとしているんです。



実は BBC の会長と報道局最高経営責任者が二人同時に、引退する、責任を感じて辞任すると表明したんですね。どんな責任か？

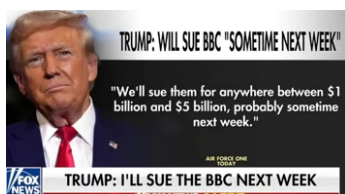
BBC に『パノラマ』というドキュメンタリーの看板番組がありますが、「去年の大統領選挙で振り返りを目指していたトランプ大統領が、4年前の2020年の大統領選挙の時、自分の支持者たちに議会襲撃をそそのかし、それで議会が襲撃されてしまった。投票で決まった結果を暴力で覆してしまうという、これは民主主義の全否定ではないか！」「トランプ大統領がそそのかしたから暴走したんだ！こんな人物を大統領に選んでいいんですか？！」という内容のドキュメンタリー番組を作ったんです。

この番組を放送したのが去年の10月28日。11月の第一火曜日が投票日ですよ。大統領選挙の直前に、「この人物はめちゃくちゃ危険なんですよ」と、BBC が総力を挙げて作る看板番組でバーンとぶち上げたんですね。

その番組の中で、トランプ大統領はこう言ってるんです。「選挙の勝利を極左の連中に盗まれた。歩いて議事堂へ向かおう。俺も一緒に行く。俺たちは死ぬ気で戦おう！」そして、支持者たちが議場に乗り込んで行った。ちょうど歩いて行っている時は、上下両院でこの選挙について守っていく投票の最中だったんです。「暴力でけしかける大統領候補って、けしからん！」という番組を作ったんですね。

ところが実は、「議事堂へ向かおう」「死ぬ気で戦おう」のくだりは、別々の文脈で語られていたのを切り貼りして、繋ぎ合わせて、一つの発言であるかのように編集したのを放映したということが分かったんですね。しかも、「議事堂へ向かおう」の直後に「平和に、愛国的に、声を上げるのだ」と述べていて、襲撃なんか推奨してないんです。にも拘らず、そこの部分をちよん切って、「いてこましてしまえ！（コテンパンにやっつけてしまえ！）」と流した。

内部告発で分かったんですが、これは大問題。大統領選挙の結果を左右しかねない内容だし、トランプ氏が一番連邦地裁に訴えられている内容ですよ。限りなく有罪になるような世論づくりを、しかも外国の放送局がやった。これはもう、大問題ですよ。アメリカの大統領は世界の指導者なので、だれがなるかによってその4年間の国際情勢が大きく変わるんです。



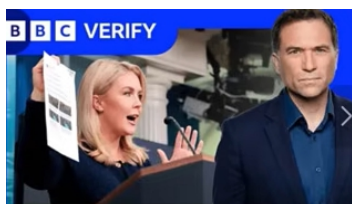
一放送局が捏造した放送によって、選挙結果を覆しかねないようなことをした。それで責任を取って、この二人が辞めると言ったんですが、トランプ大統領は「辞めるで話済むと思うなよ。損害賠償10億ドルだ！」

BBCの会長は「辞任しますけど、金は払いません」

トランプは怒って「じゃあ、5倍の50億ドルじゃ！」

BBCは大ダメージなんですが、でも、BBCは今までちょっと酷すぎる。

日本もBBCのニュースをいっぱい流してますよね。



これもBBCの偏向報道です。トランプ大統領の女性報道官が「確認すべきだ」と上げているのは、BBCが作った『GAZA 一戦場で生き残る方

法』というタイトルのドキュメンタリー番組です。今年2月に放送されました。イスラエルがいかに酷いか、ガザの人たちがどれほど苦勞しているか、そしてハマスに加担する内容です。今でもYouTubeで見れるんですよ。そのサムネイルの部分を見せています。

これを見た人はだれもが、「イスラエル、けしからん」と思わざるを得ないような内容なんですが、調べたらエライことが分かったんですね。

この番組の中で、ずっとナレーションを担当している少年がいますが、実はハマス幹部の息子だったんです。ハマス幹部の中でも副農業大臣の息子ですよ。

しかも、制作会社が少年の母親に謝礼を渡している。

BBCは「いや、知らなかったんや。我々は独立制作会社に依頼してそれを作ったのであって、直接知らなかった」と言っていますが、流したのはBBCの放送局でしょ。これは大失作だということで、イギリスの情報通信庁／オフコムが制裁してます。制裁したのはいいんですが、後で「嘘だった」と言っても、未だに知らない人たちがほとんどなんです。見た人は、間違った映像の方が残ってるんですよ。そういうことが、反ユダヤ主義・反イスラエル主義に油を注ぐような形になってるんじゃないですか。

BBCがおかしいのは次の画像もそうなんです。これはシャニー・ルークスというドイツ系イスラエル人女性のインスタグラムです。BBCは「彼女の母は、『ハマスの戦闘員に拉致された娘のシャニーは死んでいる』と書いた」と報道しているのですが、問題は、赤い四角の所を見てください。



SHANI LOUK'S INSTAGRAM
Shani - pictured here in Mexico - was attending a festival in Israel when she went missing

The mother of Shani Louk, an Israeli-German woman thought to have been kidnapped by Hamas fighters at a music festival in Israel, says her daughter is dead.

「Hamas fighters」と書いてあるんですよ。テロリストでしょ。ファイターなら戦闘員じゃないですか。戦闘員は正規軍の軍人のことですよ。テロリスト。まるで、正規軍の戦闘員がそれをした。いや、戦闘員ならよけい民間人にそんなことしたらダメ。だけど、BBCは一貫して、ハマスをテロリストとは言わない。ハマスに紛れもないテロリストの行動があるにも関わらず、そう思えないような、まるで、はるかにマシな人々であるかのような呼びかけを言い続けてるんですね。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

アル・アハリ病院爆破事件 (アル・アハリびょういんばくはじけん) は、2023年10月17日、2023年パレスチナ-イスラエル戦争の最中、病院敷地内に1000人が避難^[1]し、院内に600人のスタッフや患者がいた^[1]ガザ地区北部のアル・アハリ病院 (英語) (アラビア語: المشفى الألماني al-Mustashfá al-Ahli al-Arabi, アル=ムスタシュファ=アル=アハリ=アル=アラビ、英語: al-Ahli Arab Hospital) で爆発が起きた^[1]。ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスの政治部門のガザ保健省は死者数を471人と報告した^[1]。一方でアメリカの情報機関は100人から300人の間、AFP通信は欧州の情報誌の話を基として最大50人としている^[2]

爆発の原因については、ガザ保健省は、爆発はイスラエルの空爆によるものだと即時に弁明した^[1]。イスラ

場所	パレスチナ ガザ地区ガザ市
爆破	北緯31度30分18秒 東経34度27分42秒
日時	2023年10月17日
攻撃手段	紛争中 (空爆またはロケット攻撃とされている)
死者	471人(ガザ保健省) ^[1] ; 100人から300人(アメリカの情報機関); 約50人 (AFP通信) ^[2]
負傷者	500人以上 ^[3]
被告人	イスラエル (ガザ保健省の主張) ^[4] (注: 1)、IDFは否定) イスラーム聖戦 (イスラエル、フランス軍事情報局が主張) ^[4] (注: 2)、IDFは否定) ^[5]

ウィキペディア 編集者: ムンフレート・キル

もう一つ。『アル・アハリ病院爆破事件』これは Wikipedia です。10月7日にテロがあって、その10日後、ガザにあるアル・アハリ病院に爆弾が落ちて500人くらいが亡くなったと。「イスラエルの空爆で、病院で治療を受けている人たち、傷ついて動けない人たちが500人くらい亡くなった！」これを大々的に報道したのが BBC です。

クレーターと壊れたフェンス



だけど、後に分かりましたよね。これはイスラエルの空爆ではなく、ガザのイスラミック・ジハードというテロ組織がイスラエルに向けてロケット弾を撃ったんですが、撃ち損じて病院の中庭に着弾したんですよ。転覆した車・壊れたフェンスとレンガ造りの壁・クレーター。クレーターは浅いですよね。500人亡くなったとガザの保健当局が言ったんです。それを BBC が真に受けて、「病院が完全に破壊された」と報道した。



BBC NEWS
* Temporary ceasefire between Israel and Hamas appears to

言った人は分かってます。ジェレミー・ボーエン。この人物は「おかしいんじゃないか」とインタビューされました。普段はインタビューする人が、インタビューされているんです。「私の報道で後悔していることは一つもありません。私は一貫して慎重でしたし、判断を急ぎませんでした」「いやいや、あなたは病院が破壊されたと言いましたよね」「ああ、そうですね。私間違えました。写真を見ると、四方が炎に包まれたように見える四角いもの、中央

に空洞のようなものがあって、それはドローンで撮影されたものだったと思います。知ってのとおり、私たちは見えるものを組み合わせて理解しなければなりません。私には、その建物全体がなくなったように見えました。それが写真から私が下した結論で、それは間違っていました。えっと…でも、それについて特に悪い気持ちはしません」

何ですか、これ？もうね、「イスラエルは悪なんだ。悪の存在は悪いことしかしないんだ」という筋書きに沿った報道をしているので、まともな報道じゃないんですよ。捏造なんですよ。今もそれが続いている。



『ガザの物資配給所付近で銃撃報告、21人死亡と赤十字 イスラエル側はハマスの偽情報と主張』
このBBCニュースでも、赤十字はハマスが言ったことをそのまま言って、その説明が長々と続き、後ろの方で「『それは嘘だ』とイスラエルは言っている」で終わる。これを読んだら、「イスラエルは嘘をついているんじゃないか」みたいな印象を受ける書き方なんですよ。



ついでに言うと、BBC やアルジャジーラを好んで引用報道するNHKについて。NHKもやらかしてますね。
『NHKがクルド人特集で映像を勝手に編集、ヘイト捏造の疑いー被害男性が提訴』読んでみませぬ。
「ネットに公開した映像を、NHKが無許可でドキュメンタリー番組に使用し、さらに勝手に音声を入れ替えて、在日クルド人差別をしたように編集して報道されたとして、男性が330万円の損害賠償を求めて、東京地裁に11月4日付けで提訴した。自らの著作権、人格権を侵害していると、この男性

は主張している」

私たちは映像を見て「ほんまや！」と思うかもしれませんが。だけど、その映像は切り取られていたり、一部しか映してないようなものだったり、偏向のために騙しのテクニックとして悪用されることもあるんです。



このイラストを見てください。右にカメラを構えているハマスのテロリストがいますね。檻の中では、産着にくるまれた生まれたばかりの赤ちゃんが泣き叫んでいます。その赤ちゃんの檻の上に立って、ハマスのテロリストたちを撮影しているんですが、映されているテロリストたちは「指を怪我しました」「こんな酷いことになって」と、泣いたり悲惨な表情をして演技をしている。

では、彼らとその足で踏みにじっているのは何か？見てください。死体の山。これはみな民間人ですよ。イスラエルから拉致された人たち、イスラエルのキブツにいた人たちが、ハマスのテロリストによって虐殺、むごたらしく殺されたんです。ところが、映しているBBCは、全体のごく一部、ハマスが被害者のように見える角度で撮って、彼らとその下で踏みにじっているものは映さない。

このイラストは非常に示唆に富んでいます。中東問題は全体を見ないと駄目です。そもそも、このガザ戦争はなぜ起こったんですか？ハマスのテロですよ。

全体ではなく、イスラエルがハマスのアジトをたたく部分だけを切り取って、「強い者が弱い者をこんなに虐めている」という報道自体、もうおかしいんですよ。

なぜ世界中に、こんなに反ユダヤ主義・反イスラエル主義が蔓延しているのか？それは、マスコミ報道の歪みに由来するものが非常に多いと思うんですよ。だから私は、「そういう事だけじゃないですよ。一歩引いて全体を見たら、こんな事が本当の原因ですよ」ということを発信しているんです。同時に、もっと動かぬ証拠をつかんで、それを皆さんに紹介したいという思いでいっぱいです。それで、5月にイスラエルに行きましたが、条件が揃えば、また間もなくイスラエルに行きます。動かぬ証拠を見ていただいて、「現実はこちらですよ」と提供したいと考えています。

イスラエルはずいぶん悪役のレッテルを貼られています。オールドメディアがそう言っているときは、かえって「本当かな？」と疑いの目を持って、冷静な判断をしていただければと思います。

また、ごうちゃんねるでお会いしましょう。チャンネル登録もお願いします。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！